



藤野のこんな所、こんな人 名久井孝昭さん



今回は藤野が誇る日帰り温泉、藤野やまなみ温泉をとりあげます。運営者の（株）牧野地域振興協会代表取締役名久井孝昭さんにお話をうかがいました。

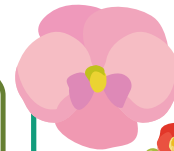
やまなみ温泉は平成9年、当時の藤野町がふる里創生資金を利用して開設した町営の日帰り温泉でした。平成19年、相模原市との合併を機に、指定管理者制度が導入されることになりました。その際、地元では「地元に関係ない団体には任せたくない、何とか地元で運営したい」という機運がもりあがりました。というのも温泉があるところがかつて牧野中学校があった所であり、牧野の中心地だったからです。その熱意が実り、短期間に110名の出資者が集まり、株式会社牧野地域振興協会が発足、見事、指定管理者に選定されました。その後、運営形態を工夫したりする努力が実り、入館者数は増加、出資者に配当金を還元できるほどになりました。

もっとも、昨年冬の大雪の影響で長期間休館を余儀なくされ、一時運営がきびしくなる、といったこともありました。

やまなみ温泉の源泉は地下1800mから湧き、加水は全くせず、100%かけ流し、全国

のどの名湯にも劣らない泉質を誇っています。杖をついて入ってきた人が、入浴後、杖を忘れて帰って行ったという言い伝えがあるほどです。露天風呂には目隠しフェンスがほとんど無く、四季折々の風景を楽しみながら入浴できます。特に春は中学校用地時代から生き続けている桜が見事に咲きます。食堂ではできるだけ、地元の食材を使うよう配慮し、お客さんの要望にこたえられるよう工夫しています。売店では藤野の特産品のほか、東北支援の意味も込めて、東北物産を扱っています。さらに、菅井に合宿所をもつTeam UKYO（片山右京さん率いる自転車チーム）との関連で、そのオリジナルグッズも販売しています。片山右京さんは1日館長を務めてくださる時もあります。その影響もあってか、最近ではロードバイク愛好者の温泉利用も増えています。

スタッフは9割方地元の人ですが、みなさん、やまなみ温泉への思い入れが強く、お客さんにやさしく、一生懸命やっていることも自慢できます。また、地元のボランティア団体である牧野元気創生会の協力を得て、温泉を核に、峰山登山道ややまなみ公園の整備が進められ、観光の範囲が広がってまいります。良質な温泉、やまなみ温泉にみなさま、ぜひお出かけ下さい。心も身体もリフレッシュできること間違いありません。



藤野観光案内所「ふじのね」より

ふじのね一押し商品！

①観光協会推奨のお煎餅、フジセン

発売以来好評をいただいているフジセン、HP「さがみはら産業あるある情報」「さがみはら銘菓・名産品」にもとりあげられ、販路を広げつつあります。素材は藤野産のゆず、お味噌、お茶、包装も藤野在住のデザイナーの手によるものです。藤野の魅力を市内、さらに一層広い地域に発信していきます。ぜひご利用下さい。



②おなじみのゆずの尊、ゆずこしょう

藤野を代表する特産品といえば、そうです、有限会社ふじのが提供するゆずの尊、そしてゆずこしょうです。ゆずの尊は鍋物にはもちろんサラダドレッシングとしても重宝です。ほかに焼き魚、焼肉、刺身など、工夫次第でどんな料理にも応用できます。ゆずこしょうも独特の風味をもつ薬味として、鍋物、麺類、肉・魚・豆腐料理など広く応用できます。ご家庭に一瓶、そして親しい方への藤野のおみやげとしてどうぞご愛用下さい。



ふじのねミニギャラリー展

毎月趣向を凝らしたミニギャラリー展。これまでの実績と今後の予定は次の通りです。駅にいらっしゃる際、ぜひのぞいてみてください。

11月 落合幸一さん・長瀬文隆さん
「人と木のふれ合い展」

おもちゃ、小物入れなどの木工作品。

12月 母袋信恵さん「野笛工房いろいろ展」
染織スカーフ、草木染の小物雑貨、クリスマスツリー飾りなど。

1月 小園井俊夫さん・素子さん
「ハッピーひつじ展」

今年の干支、羊にちなんだ板絵人形、ウール織りスカーフ。

2月 橋沼美和子さん
「桃福展 - 木の皮で作った紙 -」
渋柿染めの紙を細工したきり絵展。

3月 木下純子さん
「ちょこっとおでかけ柿渋染めバッグ展」
柿渋染めのバッグ、小物入れ展

